

NOMA eラーニング
「働き方改革時代のワークスタイル基礎
【社員・職員向け】【経営層・管理職向け】」
2コースを提供開始

■概要

一般社団法人日本経営協会(会長:高原 豪久、東京都・渋谷区)は、2020年3月30日より、新たに「働き方改革時代のワークスタイル基礎【社員・職員向け】【経営層・管理職向け】」eラーニング2コースの提供をスタートしました。

2019年4月より、働き方改革関連法が施行されました。そのなかで示された3つの柱の一つ「多様な働き方の実現」は、「業務効率化」や「生産性向上」「従業員の生活の質的向上」などの目的に向けて、在宅勤務やテレワークなど多様な働き方を推進しています。

そうした背景から、本eラーニングコースでは、働き方が多様になるからこそ生じるであろう課題に対応するための基本スキルを学ぶことができます。



■監修・共同開発

人材開発コンサルタント 山崎 紅

■お問い合わせ先

一般社団法人日本経営協会 開発センター経営研究センター(NOMA eラーニング)

TEL 03-3403-1522

Mail e-learning@noma.or.jp

■「働き方改革時代のワークスタイル基礎【社員・職員向け】」

本コースでは、多様な働き方に取り組む上で求められるスキルである「コミュニケーション」「セルフマネジメント」「情報セキュリティ」などを学びます。テレワークや在宅ワークを選択する人だけでなく、その周囲の人も含めた働く人すべてに必要とされる心構えを知ることができます。

■提供価格／学習期間

【提供価格】税別3,000円／1名(ID)につき
【学習期間】30日間

■パンフレットURL／SAMPLE動画URL

【パンフレット】

[https://www.noma.or.jp/Portals/0/007_center/pdf/\[GUIDE\]WorkStyleFoundationForEmployees-Course.pdf](https://www.noma.or.jp/Portals/0/007_center/pdf/[GUIDE]WorkStyleFoundationForEmployees-Course.pdf)

【SAMPLE動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=1x-gFpfeNj8>

多様な働き方とは	多様な働き方への心構え	セルフマネジメント	コミュニケーション	情報セキュリティ
<h3>1. (3) 多様な働き方がもたらすメリット</h3> <p>組織にとってのメリットとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働力確保 <ul style="list-style-type: none"> 離職防止 新規採用促進 生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> 分担で効率化 多様な知恵で創造力向上 BCP※対応 <ul style="list-style-type: none"> 属人化排除や在宅勤務等で有事に対応 <p>※ BCP：Business Continuity Plan 事業継続計画。災害など有事にも事業継続あるいは早期復旧できる体制を整えること。</p> <p>在宅勤務などにより、災害時へのBCP対応にも役立ちます。</p>				
<h3>2. (3) 主体性と責任感を持つ</h3> <p>多様な働き方をすると一人ひとりの主体性に任される部分が増える！</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間の多様化 場所の多様化 <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> フレックスタイムで上司や同僚と勤務時間がずれ違う 在宅勤務で一人で働く <p>在宅勤務によって一人で働くかもしれません。</p>				
<h3>3. (3) タイムマネジメント</h3> <p>緊急度 & 重要度 & 必要工数</p> <p>判断ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急度が高いものが最優先 緊急度が同程度なら、重要度で判断 緊急度・重要度をよく考えたらうえで必要工数と今日の空き時間を照らし合わせて検討 <p>緊急度・重要度をよく考えたらうえで、必要な工数と空き時間を照らし合わせて検討します。判断に迷うときは上司や先輩などに相談しましょう。</p>				

多様な働き方とは	多様な働き方への心構え	セルフマネジメント	コミュニケーション	情報セキュリティ
<h3>4. (1) 職場のあいさつ・声かけ</h3> <p>例</p> <p>モバイルワークや在宅勤務など働く場所が多様な職場では...</p> <p>この件、誰かわかる人いますか？</p> <p>〇〇さんの案件ですね確認してみます</p> <p>その件の詳細送ります！</p> <p>どこにいても、オフィスにいるのと同じと思ってお互いに気軽に連絡しよう</p> <p>どこにいてもオフィスにいるのと同じと思って、お互いに気軽に連絡しましょう。</p>				

多様な働き方とは	多様な働き方への心構え	セルフマネジメント	コミュニケーション	情報セキュリティ
<h3>5. (4) オフィス外での情報セキュリティ</h3> <p>外出先では、原則、フリーWi-Fiは使わない</p> <p>例</p> <p>外出先で働くなら...</p> <ul style="list-style-type: none"> 第三者が後ろを通らない場所（可能であればドアが閉まる部屋） 情報機器は手元から離さない 原則、フリーWi-Fiにはつながらない <p>原則、カフェやホテルなどで用意されているフリーWi-Fiは、業務では使用しません。</p>				

■「働き方改革時代のワークスタイル基礎【経営層・管理職向け】」

本コースでは、「多様な働き方」に伴うコミュニケーションの変化や、情報セキュリティに関するより高い意識など、働き方が変わることによって求められるスキルや持つべき意識を短時間で学習することができます。

多様な働き方の広がりとともに変化する、労務管理やセキュリティマネジメント、コミュニケーションのスキルに対応するコースです。

■提供価格／学習期間

【提供価格】税別3,000円／1名(ID)につき
【学習期間】30日間

■パンフレットURL／SAMPLE動画URL

【パンフレット】

[https://www.noma.or.jp/Portals/0/007_center/pdf/\[GUIDE\]WorkStyleFoundationForManagerialPosition-Course_ver1.0.pdf](https://www.noma.or.jp/Portals/0/007_center/pdf/[GUIDE]WorkStyleFoundationForManagerialPosition-Course_ver1.0.pdf)

【SAMPLE動画】

<https://www.youtube.com/watch?v=SGOQh3DJF9g&feature=>

<p>多様な働き方とは</p> <p>多様な働き方への心構え</p> <p>セルフマネジメント</p> <p>コミュニケーション</p> <p>情報セキュリティ</p>	<p>多様な働き方とは</p> <p>管理職に求められる意識改革</p> <p>マネジメント</p> <p>コミュニケーション</p> <p>情報セキュリティ</p>	<p>多様な働き方とは</p> <p>管理職に求められる意識改革</p> <p>マネジメント</p> <p>コミュニケーション</p> <p>情報セキュリティ</p>
<h3>1. (3) 多様な働き方がもたらすメリット</h3> <p>組織にとってのメリットとは？</p> <ul style="list-style-type: none"> 労働力確保 <ul style="list-style-type: none"> 離職防止 新規採用促進 生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> 分担で効率化 多様な知恵で創造力向上 BCP※対応 <ul style="list-style-type: none"> 属人化排除や在宅勤務等で有事に対応 <p>※ BCP：Business Continuity Plan 事業継続計画。災害など有事にも事業継続あるいは早期復旧できる体制を整えること 在宅勤務などにより、災害時へのBCP対応にも役立ちます。</p>	<h3>2. (5) 業務の生産性向上を意識する</h3> <p>限られた人数、労働時間のなかで成果を上げるには業務の生産性向上が必須！</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務を見直してやめることを決める 効果・効率的な業務プロセスに変える お互いにカバーし合う体制を作る <p>お互いにカバーし合う体制を作るといった方法があります。</p>	<h3>3. (1) 目標管理と評価</h3> <p>陥りやすい判断ミスに注意しよう！</p> <p>例</p> <p>目の届く範囲にて業務内容をわかっている人を高く評価 在宅勤務が多いなど 目の届く範囲にいる時間が短い人を低く評価</p> <p>何をやっているか毎日見ているからよくわかるし、高く評価しよう</p> <p>在宅勤務が多いなど目の届く範囲にいる時間が短い人を低く評価してしまったり...</p>

<p>多様な働き方とは</p> <p>管理職に求められる意識改革</p> <p>マネジメント</p> <p>コミュニケーション</p> <p>情報セキュリティ</p>	<p>多様な働き方とは</p> <p>管理職に求められる意識改革</p> <p>マネジメント</p> <p>コミュニケーション</p> <p>情報セキュリティ</p>
<h3>4. (2) 1 on 1によるメンバーとの対話</h3> <p>1 on 1（ワン・オン・ワン）とは上司と部下が1対1で話し合うこと</p> <p>日々の業務上の報連相とは別にメンバーの成長のために定期的、あるいは、求めに応じて時間をとって話し合います（月1～2回、1回30分程度が一般的）</p> <p>1 on 1とは、上司と部下が1対1で話し合うことです。日々の業務上の報連相とは別に、メンバーの成長のために、定期的、あるいは、求めに応じて時間をとって話し合うというものです。</p>	<h3>5. (3) 情報セキュリティを徹底する</h3> <p>文書や情報機器は許可なく持ち出さないよう徹底</p> <p>紙の書類やパソコンの持ち出し？</p> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"> 持ち出す場合は上司の許可を得る いつ、だれが、何の目的で、何を持ち出したか、いつ返却されたか、記録を残す 万一の紛失・盗難に備えてセキュリティ対策が不十分な情報機器は持ち出さない <p>万一の紛失・盗難に備えてセキュリティ対策が不十分な情報機器は持ち出さないように徹底するなどの対策を講じましょう。</p>